815
3

舊府政撰要集抜萃

聽訟 四

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

引負金済方

[illegible]年五月

本郷四町目市ゟ来居左衛門ゟ麻布龍土坂口所家ゟ
冬七外ニ人に掛ル引負金ニ而右本手之内壹七義
頼人左衛門方本ニ本金ニ而相成ニ而引負洲ゟ由ニ而
無人人ゟ冬七清ニ年に無七とも頼友ニ而引負金之
頼出ルニ付唐判也し并事義ハ無七ハ手頭ヲ付以此本
右滞高之内に金百両ハ當金ニ本済し残金ハ金高ニ而

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

擧準ニ在ル所ニ在ル所ニ於ケル様下ニ成ル事

一 在方ニ跡式ヲ見ル二ニ於ケル悴ニ又ハ二男式ヲ書子ニ於ケル相續

為ニ成ル是ニ在ル身ニ計ラ出ル當地ニ於ケル出訴ニ於ケル類其身ニ貧窶

貴樹ニ於ケル當地ニ於ケル續人ニ出訴ニ於ケル事支ニ於ケル義ニ付ケ紀ニ上外ニ在ル様

子細ニ無ニ分ニ於ケル隨中ニ諭願下ケ為ニ成可中ニ於ケル

一 在方身上ニ於ケル仕舞在方ニ於ケル續人無ニ之ニ於ケル并出稼ニ成ル先ニ之

滞ニ於ケル生ニ於ケル人ニ於ケル隙ニ在ル退ニ於ケル上ニ於ケル何方ニ於ケル出訴ニ於ケル先ニ不苦

前ニ付ケ裏判ニ當ル老下中ニ於ケル

一 在方ニ親子兄弟ニ於ケル讓ニ更ニ於ケル出訴ニ義ニ當地ニ於ケル出ニ無ニ當ル

出訴ニ成ル於ケル出入ニ於ケル讓ニ前ニ於ケル當ニ於ケル在方ニ於ケル願ニ在ル貫ニ於ケル様中ニ諭

取上中ニ當ル處ニ於ケル家ニ於ケル住居ニ於ケル類焼ニ其ニ不生ニ在ル者ニ於ケル續ニ取ル續ニ於ケル

成合力ニ義中ニ於ケル實ニ重子ニ於ケル居ニ不中ニ於ケル誤ニ讓ニ更ニ於ケル類ニ在ル事ニ

於ケル紀ニ於ケル上ニ在ル上下中ニ於ケル

一 二男三男左介人杯同居ニ於ケル別稼ニ當ル高ニ於ケル滞ニ於ケル自分ニ

金子貸付候類ニ而も證文譲受之義ハ子細ニ寄候ハヽ売掛帳面之
附込ニ相成居候一両年前譲渡候ハヽ其方ニ而取立候共不取上筋ニ候
不相当之古証文等ニ付帳面譲受候ハヽ取上不申方ニ取極候事
右ニ両通相伺候裏判願之義者人別送不相済出生之村方并
同支配所同領同郷ニ而も不相当ニ候得共其外代官并領主
地頭ト申迄人別相紀身分取候證文之裏判願出候ハヽ
之右之伺書ニ取計候先例ニ相成候様取極候事

新訟方之部

享保七寅六月

借金銀公儀掛リ出入裏判済口之節ニ候得共
寄々月数不拘相手方ニ而不及吟味ニ御済ニ申付候
義ハ是迄之例済口之節ニ而済金不足候
金子未済候ハヽ是迄済口人ト貸金ニ而も此上催促之諸
掛之公事済方済以上ニ而相成候得共
貸金当年分之取計相成候義難相成候

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

三條八百年二月廿二日

新金出入裁許ヲ付方ニ義是迄新金出入裁許ヲ
渡ス先例ニ古ニ右ニ貸地能徳家化帰等ニ振合ヘ
准シ日限添方ヲ付ス上身祈限ヲ付可能ニ家ヲ定ム
貸地金帰日限ニ五年ニ以上振毎迄六十日限振毎日上
五振毎迄百日限家貸金帰ニ三振毎以下六振日限ニ日限
ニ貸地ニ取ニ百姓共成丈ケ地所ニ不離様ニ与ニ以趣ニ充ス

日限も右操寛ニ而ハ定も無之義ニ付日ゟ之新金ニ在之ら
借遣之候ハヽ預金同様ニ取扱可然筋ニ無之候間家質
金滞ニ准し日限済方申付於不済ハ身体限申付
其余ハ先例ニ准シ共通ニ付相極ル

預ケ金

天保八酉年二月廿六日評定所一座評議決ス
預金出入裁許申付方之義牧野北越前守問合ニ付取調之処
是迄預金出入裁許申渡候先例無之右者質地作徳之家質
滞之根元ニ准し日限済方申付其上身体限申付候旨御定書ニ
質地金滞日限之者毎ニ上相当之六十日限相当之上相当之
百日限家質金滞之者毎ニ年々百日限之年毎之六十日限之
日限之者之ハ質地之義者百姓共成立之根元ニ不離操之趣意ニ有之

日限も右様寛々定ニ至ニ義ニも可見之ニ於テ能金ニ右ニ諸達ニ来ル
預金自用ニ聽通可致筋ニ無之ニ於ケ家質金滞ニ准シ日限
滞方ヲ付ニ於テ滞ニ於ケ身體限ヲ付ニ於テ當下ニ於テ右ニ趣ニ付諸定ニ
一定ニ及ニ於ケ決一決之事

預金

天保九年戌九月廿五日ニ於ケ決ス

武家ニ拭ニ於ケ預金出入拙者方ニ数ニ預出當時ニ於ケ味中
之處滞ニ掛居石行ニ他破決ニ於ケ成ニ向ニ見之ニ於ケ處家方ニ預金
裁許ヲ付ニ於ケ先例ニ當ニ無之ニ既ニ去ル二月中牧地尾馬駿府町奉
之節ニ於ケ金取扱方年人内藤年人正ニ問答見之ニ於ケ處預金ハ自用
聽通ニ可致ニ無之ニ於ケ家質金滞ニ准シ日限滞方ヲ付ニ於ケ
上滞ニ於ケ身體限ヲ付ニ於テ當下ニ於テ右ニ趣ニ付節諸定ニ不一致

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

戻る相滞願出候節も右記之金滞之振合ゟ以前斗之分可申候

戌十月

[illegible]年六月二日

子駿谷町仁之永店安兵衛伯母[illegible]先年出井
[illegible]家来馬場彦太夫ニ掛ル 雅田平永町幸七店
和歌[illegible]伯母[illegible]家居堀又十郎家来木村茂太郎ニ
掛ル候願金出入裁許申付方之義町奉行間井[illegible]方
[illegible]乱[illegible]の方ニ利付[illegible]金[illegible]
元利七振ハ[illegible]滞九年ニ[illegible]卯年二月中右滞之内八[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

当館蔵書

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

一

一

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

三保十三貢年十月所有之書居甲乙之事遠之

近来金銀貸借返渉滞務ニ付金自是損失ハ可償見込之以
寄利ニ資方ハ成ニも相当ニ生上ニ来歌聞不直ニ付金銀出入
取捌格別厳重ニ改革ニ付可従ハ今日下問ニ付勘解
仕候處文化三貢年五月評定所一座ハ問之上ニ来ル之
切金負数ハ改年賦之割合ニ以裁許申付ニ付元来覚
やの成割合ニ又一層覚やうニ成裁許受ハ当夫訴訟人

難渋致し候者共内済致し候様ニ申し利解申聞外
不熟相済候ニ付借方之者共気強ニ相成年々貸方相頼候
而已振合ニ付三分一ニも更ニ不納者共ニ之猶又出入不足
勘弁いたし可申と無利足内済致し候様ニ成行其上無利之借方
世上融通方一統之儀ニ付貸方勢ひ取ニ不拘之儀ニ可有之
至極ニ付利弁相除き融通之為メ方之儀ニ付同十四
而年々御取計ニ可仰付哉ニ付頼候処右之内延享三寅年

二月子年より不二出入ニ対済ニ相成候ニ付本毎月四日廿一日於
評定所切置為申出候方寺社方ハ寺社町奉行之月番限中付
掛り寺社奉行限り出入之者ニ付手寄之手切ニ而人情
淳薄ニ相成金銀之儀二三度宛出入致事ニ付処中延喜済之儀ニ而
似候一般之寺社候様ニ而可致候得共利息之候共掛ニ而損失ニ相成候為
自分之高利之貸付方ニ付而之儀ニ付只今一般利下ニ之儀也
仰出候上ニ而相当之出入ニ而上ニ遅速ニ無之ニ付吟味詮議以而得合利安ニ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

一 借金銀　一 祠堂金　一 官金
一 書入金　一 立替金　一 失納金
一 職人手間賃金　一 手附金　一 持参金
一 賣掛金　一 仕入金
一 諸道具新調文ニ而童子借ル類
一 諸物賣渡調文ニ而金子借ル類
一 五家人又ハ周達町人ニ拝領屋敷地代店賃ノ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

金子借其類

右之定書ニ三十日限添方添方ニ中付日限ニ而少ニ而も
不添ハハ其ニ月毎度宛切屋ニ為電出其上添方不増ニ其ハ
身代限下中付事 但呼出其節不来ハ戸ニ欲又其添方
中付ニ電不増ニ事ニ其代表方ハ此老年ニ中直寺社在
所方ニ急度始ニ中付ニ其ニ此ニ其ニ以来百姓所人ニ其掛ニ其
出入ニ切屋ニ裁許ニ其止先對決中付ニ上詳巻中ニ府右

ハ戸ニ添方要務ニ成ニ不及吟味ニ其ニ高倍屋
一倍ニ日限ニ添方中付右日限ニ不来添ハハ手鎖領ニ中付
滞ニ分添切ハハ電急ニ手鎖領ニ中付ニ重ニ添方ニ電ニ
其ニ身代限下中付ニ九ニ弱ニ其ニ双ニ事ニ就ハ其姫来
吟味ニ上茶問様可ニ付ハ
但本人病気ニ而代電出ハハ 府内限出金所役人ニ
立居様子ニ見ニ他其ニ家ニ有ニ而ニ見ニ他ニ其ニ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

一 同居之事ニ元来之身上者ニ付下為相渡果無之事者同
同居之名同ニ而同家ハ身代見之親大夫相應之高段之し
其ものも下見之不取上ニ而其ニ一躰之願通ニも拘其間所持之
衣類其日ニ不為相渡下申ニ
一 事ニ人ニ掛ニ出入も右同様取捌其果ニ其人ニ相到更添方下申候
一 借金不持之田畑家屋敷ニ而家質ニ地入金ニ而訴文ニ味之上
出訴已前入金ニ無相違ニ以質地入之田畑屋敷ニ無拂

質取金ニ為相渡 弥金之間ニ以訴訟人ニ可為相渡過金無之
其ハ質取金ニ相對ニ而申付質地訴文ニ而も不得人加判
無之ニ而ハ書不借金ニ准し取捌ニ而事ニ失ニ而ハ紀金有間ニ
應し剰余其ニ而身代限為相渡下申ニ質地ニ入無之其先ニ
田畑ニ而ハ不相渡ニ無拂代金ニ以為相添ニ而可仕其
一 妻持来屋持来之家也しき田畑ニ而も右同様ニ而斗
妻之名付ニ而ハ持来之無相違ニ以為相除下申

一 永代限ニ而質ニ差置候親類共抔同様ニ而相対ニ而出入
難出候ハヽ 一通り訖ニ而差返候様ニ付候ハヽ 前出同様人同様ニ
取扱申付 本人ニ而対談人・不遠遠之ニ付候ハヽ 返方
ニ相成候不下ニ而掛 不申候 取上可申候

一 売渡之年季之田畑出入 済之方借主人之と
遠之[illegible]立候ハヽ 年数之有之 取裁許可申付 済之年賦
ニ而元金不利足之[illegible]ニ而当り候故 父祖之代ゟ譲受候

借金之訴訟可致旨願候ハヽ 其上新規借用手形
証金之[illegible]月之證文吟味之上 [illegible]元金
利足ニ而[illegible]之元金[illegible]利足之上 裁許申付
捨之年賦之[illegible]利足と元金ニ[illegible]新規借用手形ニ証文
證文ニ而[illegible]対談申付 不上裁許[illegible]

一 売掛出入之[illegible]年賦ニ而[illegible]勘定[illegible]
裁許[illegible]捨之年賦之裁許申付 捨之年[illegible]以来

一 是迄之定来ニ対シ済方申付候儀猶申渡候ハヽ、是又上ニ而義

振合年賦之貸掛ニ候とも、振合年内迄引候而引可申候、但シ済方

引請之上ハ歳々滞りなく、張合十ケ年ニ而貸掛之済方

可申付候

一 貸掛之儀ハ元利足り加へ訴訟候得とも、本ケ年済方二十ケ年賦金ニ

限り、前々日三厘ニ而利金ニ加へ、本ケ年ニ元利之本金

滞り候ハヽ、右之帳面之滞りニ而元利足ニ加へ可及

一 地代金

一 店賃金

返済ニ相成候迄ニ相成候利足ニ付、利足之儀不相立候ハヽ極金申付

右ハ定式ニ三十日限済方申付、日限ニ不相済候ハヽ切金ニ為差出

身代限リ申付候之儀、貸金利倍ニ金銀之不差出候ハヽ身代

家賃金同様之日限ニ而済方申付候上不相済候ハヽ身代限リ申付候

土地地代店賃金之儀利倍ニ付、重日限ニ而不差出候ハヽ可申付

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

之義、取組之金之方銀掛出并銭之貫緡銭文吟味之
滞之間敷、為取計下ケ札ニ及候　午年閏正月評定所
一 旅宿之後添状之儀、内分之受掛込屋之人数并手形
同所裏店、表店出入之儀不残来年之者共組合可改旨其
日府内江出入并其居町内之者、七日同裏店出入之者ハ境内之者
共家主出入之屋之方銀銭大目之吟味致シ出置外之
同所之裏判有之候ハヽ境内之者之銀銭町並之銀取立印

銭之貫緡銭文吟味之上取立、右之下支同所掛り之者取計下ケ
一 借地證文ヲ以借候金銀出入
右ハ定式之百姓ゟ其町家借屋出入之地面借之者共名前之者
地面借受之町役人并家主共ゟ地面借之者共取立候事ゟ
是迄之通取計候上ニ而地面借之もの百姓共ゟ之取計候
等地面借之名前之者等之家主證文ニ而相済候様成も御
当事之儀ニ付地面借之者中ゟ府内附　願立地面借ニ而聞届候

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

法書状ヲ記シ借金銀ハ所持人連市ニ至テ一ツ借屋ニ準ジ
取極ノ事ニ且ニ返ニ通ニ裁許ニ下ル事
一 為替屋
右ハ三ツ書ニ為替屋同様ニ屋高ニ應シ日限添方ニ下ル事
且ニ門先利足ニ且ニ一ツ借屋ニ準ジ取極ノ事ニ且ニ返ニ通
裁許ニ下ル事

一 三ツ書屋銀出入名同ニ外
一 普請屋
一 仕送屋
一 雜用屋
右三ツ条ハ金銀出入同様ニ取極ノ事ニ付
土庵雜用屋ニ成ル可ニ送ニ其ニ雜用ヲ不滞ニ成ル利分付ル事
其ニ對決遣ニ及ニ趣ニ意ニ有ニ為替屋滞ニ準ジ日限添方ニ付

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

[illegible]

借金ニ准ジ分ハ其節金ニ[illegible]

一社中[illegible]

一 譲金

一 預金

一 為[illegible]金

一 身元[illegible]

右之間預金出入裁許之義先例之[illegible]可[illegible]

[illegible]

[illegible]

一社[illegible]

一 損料金銀

右之借金銀[illegible]

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

右ノ質文ハ以テ當用ニ於テ無ク換料ニ質入ニ利ヲ以テ二年ニ未来リ
難義ニ付テ無ク上金壹文ニ付テ為貸付ニ可ニ三日
限ニ證文可ニ付ニ文化二丑年二月所願ニ付テ證文ニ無ク
無上ニ不ル料理ニ義ニ日数ニ付テ有ニ料理斗ニ添方
ヲ付借方ニ者ニ取拘質入ニ付ニ在原拘ハ早ニ為ニ添ニ様
ヲ付ニ上ニ不ル添ニ前ニ以テ味ニ上ニ出當ニ於テ下ヲ付ニ尤難ニ有ニ
ヲ拘ニ有ニ人ニ付借ニ更ニ無ニ遣ニ分ハ非ニ證文ニ無ニ有ニ

右同様添方下ヲ付ニ

一 年賦金

右ニ年賦證文ニ極ニ其不ニ拘家早ニ家物ニ元金高ニ以テ
添方ヲ付来ニ有ニ更ニ於テ年賦ニ成ニ其数年来ニ借金ニ
以テ上ニ極金ニ義ニ日付ニ有ニ證文ニ極リ用ヒ年賦ニ滞斗
通例ニ添方ヲ付未ニ弱月不ニ成ニ其年賦ニ対ニ通下ニ添ニ有
下ヲ付心ニ有ニ室暦九卯年五月評定所一座同添ニ見ニ来ニ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

之数を先役ゟ見候ハヽ先年迄ハ金ニ而被下居候所済ニ上ヶ置

裁許下ヶ申付候

一 同役共手代人死失之者ハ願之通り名跡之者之親子を先役迄之

身代限相済当役者共ゟ上ヶ金之同居人ニ相成之節請人ニ

相手取願出候ニ付右請人同様済方申付候右相手

之者取立之候之分金ニ御座候ハヽ只今迄之通請人ニ済方ハ申付

間敷候

当請人之儀ニ付相手方之所ニ而出候ニ付金ニ而差出候節

相手方右衆之儀ニ付而申候ニ付格別之事

等ニ而差出し候ニ付其儀ニ候ハヽ矢張請人ニ済方之事ニ付

一 本人身代限相済之後残金請人相手取願出候ハヽ右

不足之分済方申付

一 先役外之者ニ而役替屋敷出入ニ相成候先役之者相済候ハヽ

前々ゟ先役地之者同出入并外出入願出候ハヽ前々之相糺

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

添方ハ身代限ニ成ル金高割合添方ニ申付ク

一 地ニ居ル出入金銀出入同日ニ出訴ス地ニ居ル申付

地ニ居ル六ヶ居ル者人ヲ引取ル方ヲ連出金銀

出入ニ方為及對決ル居子ニ者ニ及出訴ヲ難義ニ存

地ニ居ル一秋出ヲ能ク可見ニ非ル事実ヲ以ル紀ニ無謂

地ニ居ル一秋出ヲ外出入ハ添ニ上頼出ヲ掠申渡取上

申ル数ヲ

一 身代限裁許更ニ復ス残金見ニ取手方身上ハ出ル

頼出ヲ成ル同様裁許一申付ク

一 武家ニ掛金銀出入

右ハ切金高右ハ来ニ負数ニ復シ三十日限添方ニ上

ニ十月毎度ニ於許定所切金ニ為ル出切金不足ニ持参ス

ハ者ハ家来ノ好者ニ取過負数通ニ為ル渡ス寿来ヲ

与ハ不及申上家老子ハ手役人ハ此出来ル申付小身ニ

而ニ夫其所ニ施ス之間列一類ニ内ニ急度相通其始末ニ當引更
ニ家来揚屋茶中付ニ等是迄ニ趣ニ御斗ニ在テ仕ニ
一 寺院社人能役者ハ用直所人ニ被ニ出入
右ニ武家ニ掛ニ金限ニ文義許ニ渡し切金多数度ニ
不足ニ拘ニ来ニ所ニ之事ニ於ニ上ニ當ニ於下中付ニ
但寺院ニ借金當人在金ニ有ニ後後ニ在ニ不
深方ニ頼ニ命ニ而斗振ニ義ニ言政ニ矣年八月

先役ニ付寺侍ニ及ニ掛合ニ之事寺中ニ用ニ分ニ後ニ
深方ニ付自分中ニ分ニ流人ニ深方ニ付先例有ニ於ニ有
仍職中寺中ニ以ニ後入用ニ附ニ趣ニ流文ニ見ニ於ニ
寺附ニ借金ニ付後ニ可引更ニ而ニ其比寺社ニ付牧地
後ニ當ニ於挨拶ニ見ニ之ニ當ニ出ニ見ニ中ニ徒ニ更ニ深土ニ来ニ内
増上寺来ニ限寺附ニ借ニ我ニ而ニ出ニ下ニ上借入ニ於ニ流ニ出ニ當
右中ニ立ニ年ニ金限ニ更入ニ雅ニ寺附入用ニ當ニ流文ニ出ニ義ニ見ニ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

寺判ヲ以借ニ更ニ金子ニ民弟子譲ニ無ニ先住ニ借
代ヲ後住ニ引ニ更添方ヲ以ニ義ニ親ニ出人ニ成ニ其ニ
久敷ニ年ニ先住ニ寺ニ付ニ有ニ成ニ居ニ及ニ再ニ流人ニ又ニ
法ニ京法類ニ之ニ引ニ更ニ而ニ追ニ捻杓ニ之流人死失
退精ニ法類法孫ニ無ニ之ニ頼人ニ不ニ相ニ損失ニ
ニ先ニ其ニ方ニ利ニ無ニ之ニ内済ニ以ニ心後ニ無ニ之
裁許ニ来ニ上ニ裁許同ニ當ニ無ニ之ニ自ニ更ニ再ニ来ニ請ニ

不限寺判ニ借金ニ於ニ後住ニ引ニ更添方ニ一件
上面寺院借金限先住死失ニ又ニ住金ニ引ニ更方
ニ義宗旨ニ事ニ夫ニ掟ニ也ニ元来有ニ
所ニ裁許ニ規則ニ無ニ之ニ京旨ニ事ニ取ニ斗方ニ遠ニ成
ニ於ニ少ニ付ニ寺ニ寺ニ堂ニ塔ニ所ニ寺ニ後ニ又ニ寺ニ務ニ入ニ用ニ
借ニ更ニ限ニ流ニ又ニ面ニ上ニ載ニ寺判ニ之ニ寺ニ付ニ借ニ代ニ
見合ニ雖ニ宗派ニ仕来ニ立ニ後住ニ之ニ

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3
ガラス使用

添定下ニ付ク

一 毎本願寺ニ掛ク金銀出入文政十六年四月評定ニ示
一 庄ニ本渋添ニ出武家ニ准ジ取扱ハ右ニ新規ニ
我ニ付ハ茶ニ通ニ諸有院同様取扱一市ニ
土面毎本願寺端茶局為居家来等自分
借ニ無ニ借主本願寺ニ命ハ端茶家来等
相毎家ニ代平有同様裏出為我人ニ不相當ニ見ニ

其上日端茶ニ交代ニ而ニ我七日裏出ニ而ニ京都ニ
引居ニ彼是為ニ也ニ下見ニ〇ニ付本願寺ニ掛リ
金ニ事ニ其節ニ端茶ニ此評状ニ渡ニ夜ニ諸為
政不相ニ得ニ返居出申付手限吟味ニ横先手評定ニ示
一庄評決見ニ由ニ付ニ通可ニ取斗ク

一 家賃金
一 有三人 給金

一 引負金

一 取逃金

一 質地小作取捌

右五年ノ完出ニ毎細ニ取捌ヲ以テ厳法ニ申付ク可

是ニ近ニ面取捌ヲ申し

右取調ヲ以テ趣ニ面ニ通リ付ス様ニ洩ニ無ヲ申付ク

此書面ヲ以テ申上

寅十月

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『撰要類集』　請求記号 815-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『撰要類集』 請求記号 815-3

ガラス使用